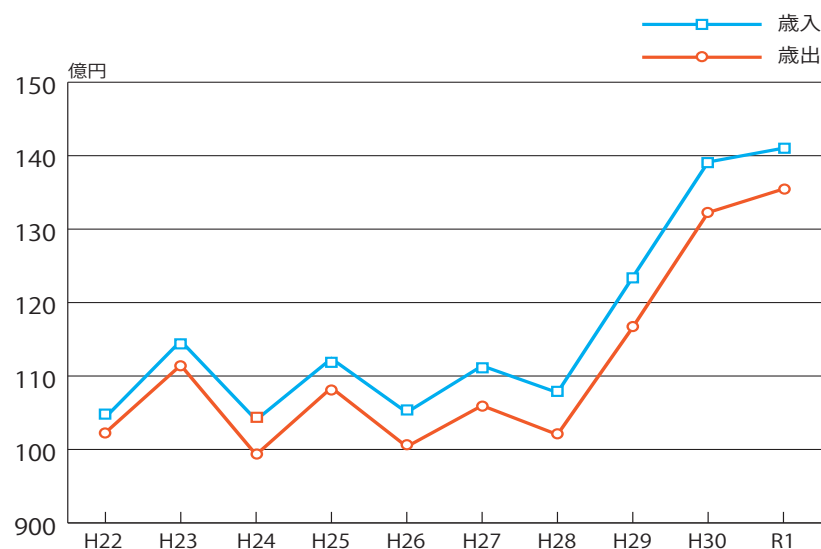




## ●過去 10 年の歳入、歳出の決算規模

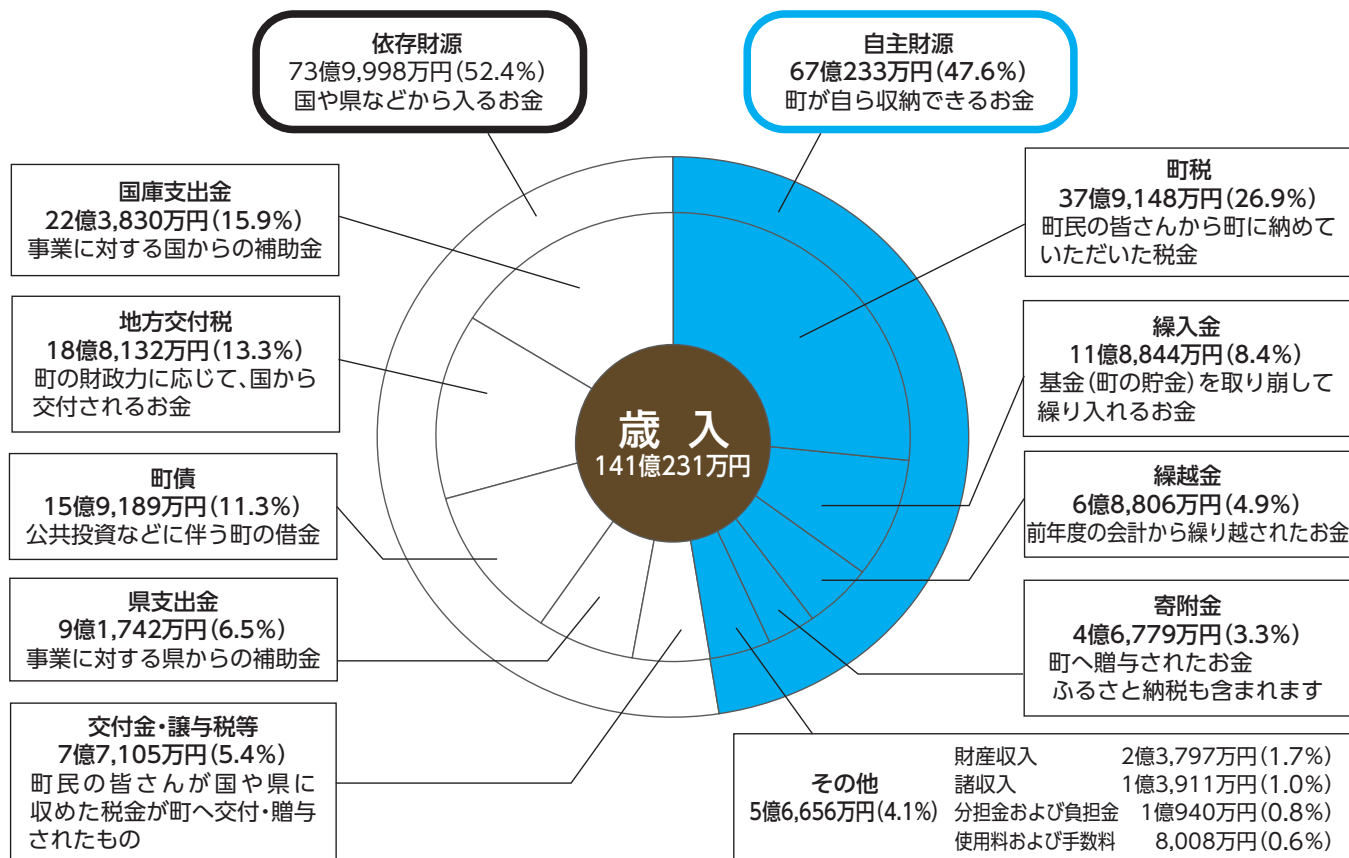
令和元年度決算は、前年度と比較して歳入は 1 億 8,859 万円増加、歳出は 3 億 2,092 万円増加となりました。



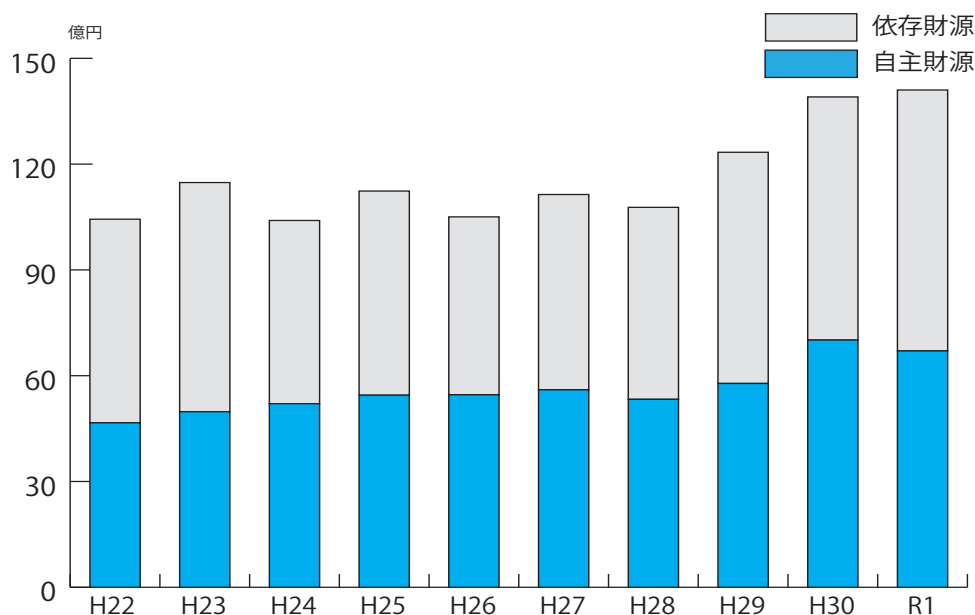
## 令和元年度 決算概要

令和元年度の町の収入と支出の実績を表す決算が、町議会定例会9月会議で認定されました。一般会計では歳入が約 141 億円、歳出が約 135 億円となりました。ここでは決算の概要について紹介します。

## 歳 入



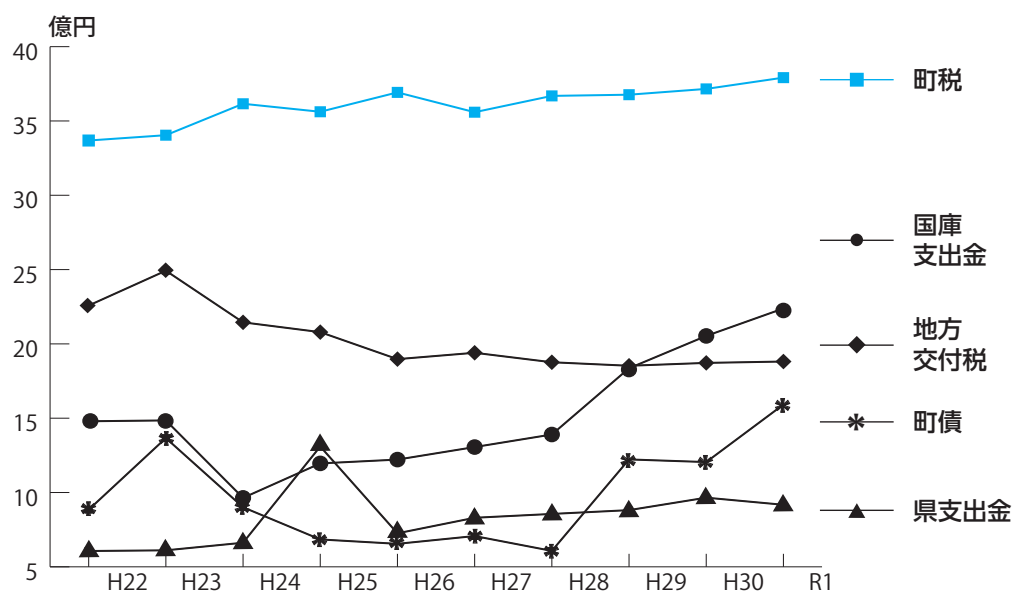
## 財源の推移



歳入に占める、自主財源と依存財源の割合です。自主財源の割合「自主財源比率」が高いほど、国や県などへの依存度が低く、財政が健全と判断できる一つの基準となります。

令和元年度は、自主財源比率は47.6%で前年度比2.8%減少。依存財源比率は52.4%で前年度比2.8%増加。両比率とも、ほぼ横ばいで推移しています。

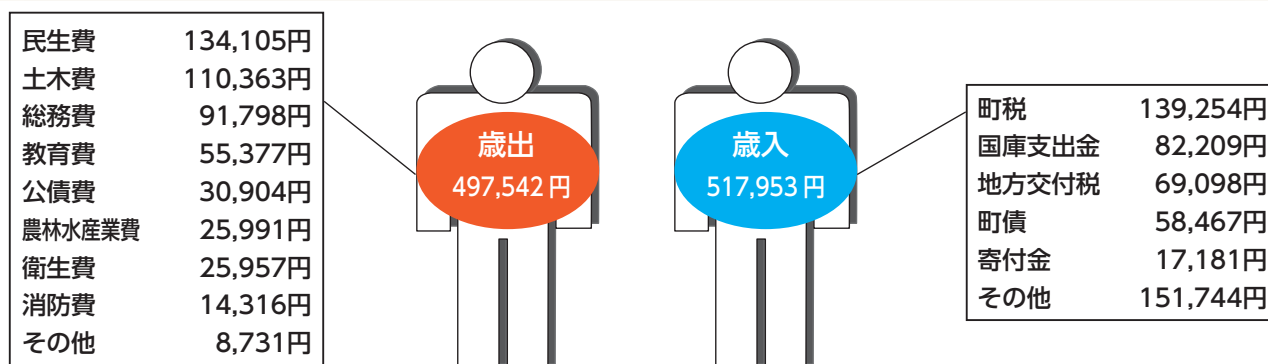
## 主な歳入科目の決算額推移



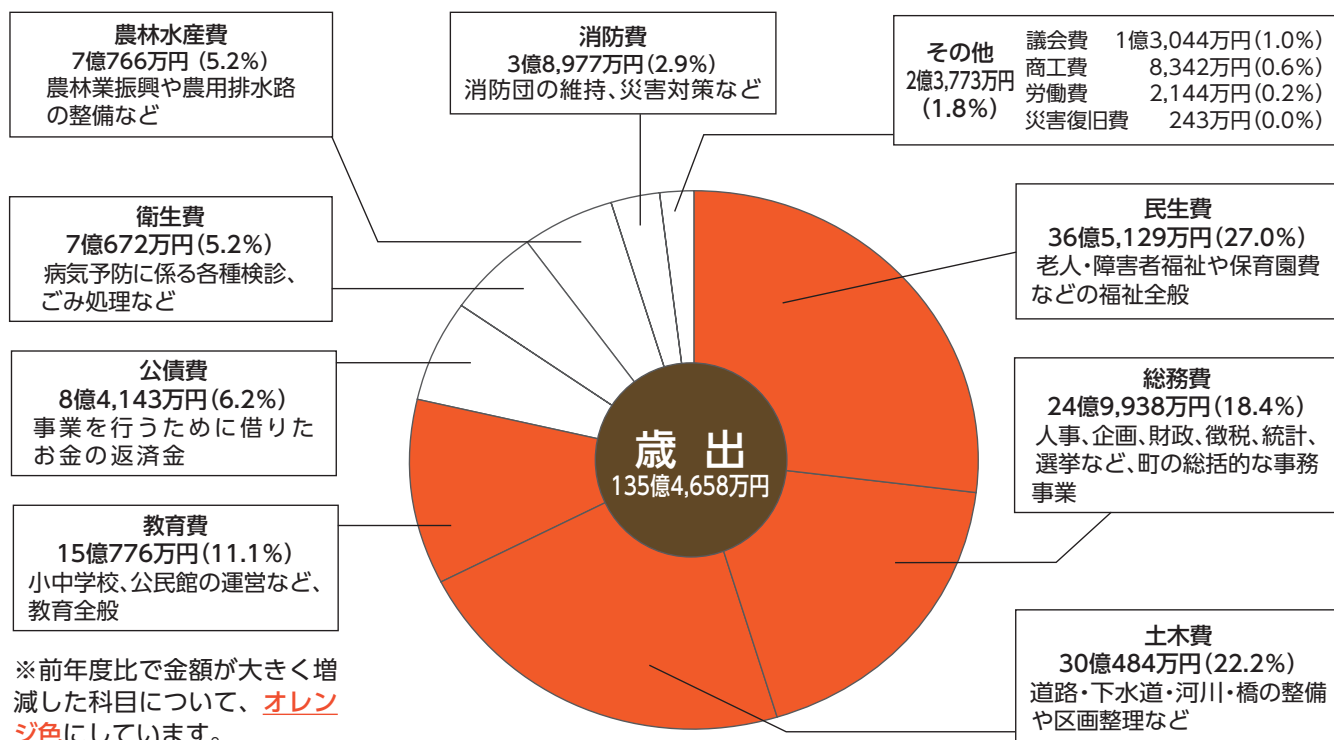
町税は町民税、固定資産税等が増収となったことにより、前年度比約7,600万円増加し、高い数値を維持しています。町債は学校施設整備事業などへの財源に充てるため、前年度比約3億9,000万円増加しました。

国庫支出金は国補助の道路整備事業が継続していることなどにより、前年度比約1億8,000万円増加し、増加傾向が続いています。

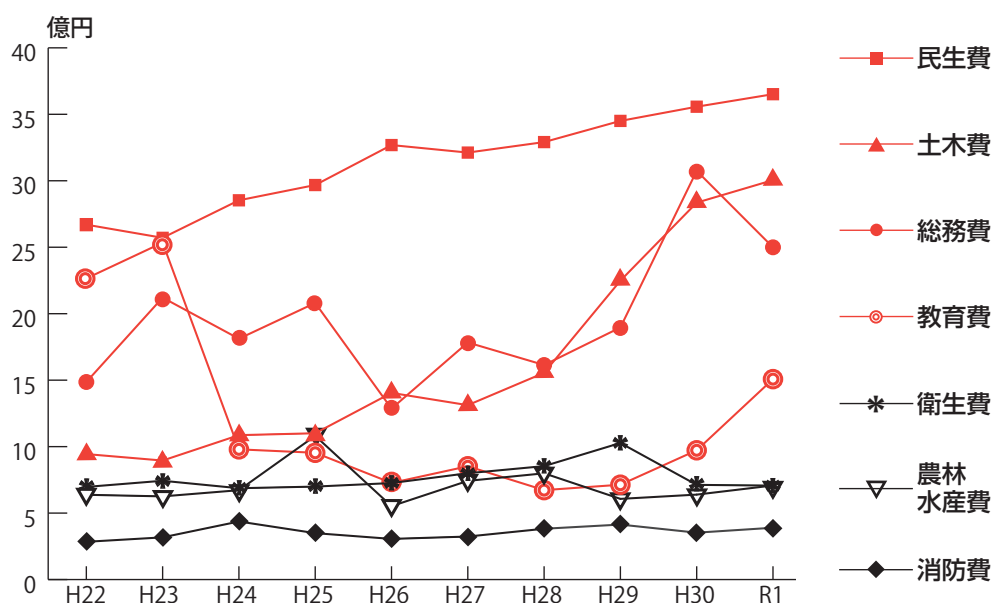
## 町民一人当たりの歳入出額 (令和2年3月31日の人口27,227人で算出)



## 歳 出



## 歳出科目の決算額推移 (抜粋)



総務費はふるさと納税返礼品購入費が減少したことなどにより、前年度比約5億8,000万円減少。民生費は私立保育園への補助などのため、約9,000万円増加しました。

土木費は下水道事業への繰出などのため、約1億7,000万円増加。教育費は小中学校のエアコン整備などのため、約5億4,000万円増加となりました。

## 令和元年度特別会計・公営企業会計の決算

| 特別会計          | 収入額        | 支出額        | 公営企業会計 | 収入額 | 支出額       |
|---------------|------------|------------|--------|-----|-----------|
| 国民健康保険事業      | 24億5,873万円 | 24億3,585万円 | 水道事業   | 収益的 | 8億6,968万円 |
| 介護保険事業        | 23億6,390万円 | 22億3,338万円 |        | 資本的 | 3億1,696万円 |
| 後期高齢者医療       | 2億1,450万円  | 2億1,436万円  | 下水道事業  | 収益的 | 14億546万円  |
| 矢幅駅周辺土地区画整理事業 | 7億7,658万円  | 7億7,322万円  |        | 資本的 | 2億4,182万円 |

(千円を四捨五入)